北雄の翼 2026

２０１８年にスタートした海外研修「北雄の翼」を今年も実施し、同窓会のご支援のもと37名の生徒がボストンへ渡航しました。午前中は他国生とのディスカッションやプレゼンテーションを交えた英語トレーニング、午後はマサチューセッツ工科大学やハーバード大学などの世界最高峰の教育機関を訪問しました。さらに、フレッチャースクールに在学中の方との懇談や現地で活躍されている方からの講話、他国生との異文化交流を通じ、日本では得られない貴重な学びを得ることができました。渡航初日にトロントからの便が欠航し、急遽トロント市内研修へ変更となるトラブルもありましたが、生徒たちは冷静に対応し前向きに取り組んでいました。本研修で得た経験や新たな課題、仲間との絆を胸に、帰国後もそれぞれの目標に向かって挑戦を続けています。

参加生徒の感想

２Ａ　宮里（みやさと）　華音（かのん）

自立心を養い実践英語への苦手意識を克服するため本研修に挑戦した。

カナダでの欠航トラブルで入国審査を受けた際は、生徒だけで乗り越える必要があった。表現が思いつかないもどかしさや慣れない単語の聞き取りに苦戦しながらも生徒同士で表現を吟味して伝えることができた。

授業では文法を意識する余り発言できない場面もあったが、文法が違っても果敢に発言する他国生徒の姿に刺激を受け、正確さに縛られていては受身の学習のままだと実感した。

様々な挫折に直面したからこそ、机上の学習では得られない実践的な対応力と視野の広がりを得られた。また、異なる環境や文化の魅力に触れたことで国際関係学への関心が一層深まった。今後も日常の些細な気づきから多くのことを吸収できるよう貪欲な姿勢で学び続けていきたい。

２Ｂ　高橋（たかはし）　穂（すい）

初日からボストンに着けずカナダで一泊するトラブルがあったものの、カナダの素敵な街並みを見ることができ、それも良い思い出となった。初めのうちは外国の方になかなか話しかけることができなかったが、頑張っている友達の姿に背中を押され、自分から積極的に声をかけられるようになった。

多くの人と出会う中で、日本の漫画が好きな方々とも話すことができ、日本人として誇らしく感じた。特に、アルゼンチンの方々と一緒にサッカーをしたことが印象に残っている。言葉が通じなくても、サッカーが共通言語となり、心を通わせることができたように思う。それでもやはり、もっと深く相手のことを知るには自分の英語力を鍛える必要があると感じた。大学では長期留学に行きたいと考えているのでそこに向け、英語の学習を継続していきたい。

最後に、このような貴重な経験ができたのは同窓会の皆様、添乗員のお二人をはじめ、先生方、家族、そして一緒に切磋琢磨した友人たちのおかげです。ありがとうございました。



日　程	都市・施設	概　要
7月5日(日)	秋田空港	秋田空港集合／出発式
6日(月)	トロント	トロント市内研修　(トロント泊)
7日(火) ～ 10日(金)	ボストン (タフツ大学寮滞在)	語学学校アクティビティ：プレイスメントテスト オリエンテーション　英語クラス (他国生との合同クラス) MIT訪問／キャンパスツアー タフツ大学「フレッチャースクール」 (日本人留学生との懇談)
		修了証授与 ハーバード大学訪問／キャンパスツアー
11日(土)	ボストン	ボストン市内　班別自主研修　帰路(機内泊)
13日(月)	秋田空港	秋田空港着／解散